

# 「能登は諦めない」——復興への希望をつなぐ 『未来にはばたけ！少年少女野球大会』を開催

一般財団法人シズオクトベースボールアカデミー（実行委員長 清水太郎／株式会社シズオクト 代表取締役社長）は、2011年の東日本大震災以降、毎年復興支援チャリティーイベントを開催しています。今年は、能登半島地震で被災した奥能登の子どもたちと、2015年から10年間交流を継続している福島県いわき市の子どもたちを招き、能登半島地震復興応援チャリティー『未来にはばたけ！少年少女野球大会』を開催しました。

## ジャイアンツタウンスタジアムで、未来への一打

本大会は、2011年の東日本大震災で被災した東北の子どもたちをプロ野球の聖地・東京ドームに招いて始まり、「野球体験を通して未来への夢や希望を育てほしい」という想いのもと、今回で11回目を迎えました。今年は会場をジャイアンツタウンスタジアムに移し、より開かれた環境での開催となりました。

参加したのは「奥能登選抜（石川県）」「いわきオールスターズ（福島県）」「オール文京（東京都）」の3チーム、総勢66名の選手たち。総当たり形式の交流試合（全3試合）を通じて、地域を越えた絆が育まれました。

## 【開催概要】

大会名 : 能登半島地震復興応援チャリティー『未来にはばたけ！少年少女野球大会』2025  
開催日 : 2025年8月19日（火）  
開催場所 : ジャイアンツタウンスタジアム (<https://tokyo-giants-town.yomiuriland.com/stadium/>)  
主催 : 一般財団法人シズオクトベースボールアカデミー  
後援 : 読売巨人軍、東京本郷ロータリークラブほか

## アーチの花道をくぐって——笑顔の入場式

開会式では、オール文京の選手たちが手でアーチを作り、「奥能登選抜」と「いわきオールスターズ」の選手たちが笑顔でグラウンドに入場。続いて、本大会スーパーバイザーの元木大介さんによる激励のあいさつがありました。

奥能登選抜の高田蓮汰選手による選手宣誓では、「僕たちはこの夢のような形で野球ができることを本当にうれしく思います。震災後、みんなで支えあい、たくさんの方が励ましてくれました。ここまで野球を続けてこれたのは、応援してくれる家族や支えてくれた仲間たちがいるからです。そして、今日僕たちを温かく迎えてくれた関係者の皆さん、ありがとうございます。今日は僕たち能登の元気な姿を届けるために、チーム一丸となって戦い抜くことを誓います」と力強く語り、場内は温かい拍手に包まれました。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社シズオクト 担当：元田（もとだ） TEL：会社 03-3360-7082 MAIL：info@shimizu-group.co.jp

## 真夏の球場で熱戦、奥能登選抜が2連勝！

猛暑の中、子どもたちは懸命にプレーを繰り広げました。

第1試合：奥能登選抜 2 - 1 オール文京

第2試合：いわきオールスターズ 3 - 0 オール文京

第3試合：奥能登選抜 6 - 1 いわきオールスターズ

奥能登選抜が2連勝を飾り、球場には元気な声と熱いプレーが響き渡りました。



## 「能登は諦めません」——感謝と希望の閉会式

閉会式では協賛品の贈呈の後、奥能登選抜の須磨聖志郎選手が「学校のグラウンドには仮設住宅が建ってしまい、野球の練習をできる場所が確保できませんでした。このような素晴らしいグラウンドを使って大好きな野球ができたことに感謝しています。能登は諦めません。これからも復旧復興に向けて頑張っていきます」と語り、復興への強い意志を示しました。最後に、清水太郎大会実行委員長が「今日の経験を力にして、未来へ夢を持ち続けてください。挑戦し続ける皆さんを、私たちはいつも応援しています」と締めくり、感動のうちに大会は幕を閉じました。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社シズオクト 担当：元田（もとだ） TEL：会社 03-3360-7082 MAIL：info@shimizu-group.co.jp